

学習の展開（学習指導案）

学校番号： 32	学校名：岐阜県立郡上高等学校	指導者名：立花 侑司	8時間目／16時間		
クラス：1年 男子15名女子16名	場所：体育館	科目：体育	領域名：球技（ゴール型）バスケットボール		
準備する物：バスケットボール 得点版 タイマー ビブス 生徒用タブレット ホワイトボード マグネット					
本時の指導 （本時の学習目標）		選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【思考・判断・表現】			
本時の手立て		自分たちのゲームの様子を観察・分析することで空間を作ったり、侵入したりする動きのきっかけを掴み、実践する。			
クラス観		授業に前向きな姿勢で取り組む生徒が多い。 バスケットボール経験者が数名在籍。他の生徒も経験者に負けないよう活発である。 ボール操作や基本的なシュート、パスが安定しない生徒もみられる。			
	学習内容	学習活動	指導上の留意点	学習形態	評価規準（評価方法）
導入 10分	○準備運動	○グループで準備運動を行う。	○各部位をしっかり動かすことを意識させる。	一斉 チーム	
	○アップ ○スキルアップ練習	○シュート練習（各2分） ・ゴール下 ・レイアップシュート ○男子：往復3メン ○女子：2メン&ロングパスシュート	○ゴール下のシュートは確実に決めることができるようにシュートポイントを指導する。 ○味方が走る先にパスを出して動きが止まらないようにする。		
【本時の学習目標】 試合の映像の動画分析を通して、仲間のプレーに積極的にアドバイスしよう。					
展開 35分	○挨拶・出欠確認	○4列横隊で整列し、姿勢正しく挨拶する。	○欠席の有無、生徒の健康状態を把握する。	チーム	【思・判・表】 行動観察 十分満足できる（A） 仲間のプレーに積極的かつ技術的なアドバイスをしている。 おおむね満足できる（B） 仲間のプレーの様子を伝えることができる。 努力を要する（C） 確認助言活動に非協力的である。
	○ミーティング 動画分析	○ゲーム動画を観て分析や評価をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;">ICT活用</div>	○見るポイントを意識させる。 ・チーム→オフENSEの動きについて。 ・個人→ポジションの役割ができていないか。 →パスコースに動いているか。		
	○ミーティング 作戦会議	○オフENSEについて、ゲームの動画分析からチームの改善点を具体的に話し合う。 ○各チームで作戦ボードを使用して攻防の動きを確認する。	○チームでオフENSEに着目し、空間を作り出すための動きを考えさせる。 ○作戦ボードを活用してチームの作戦を理解させる。		
	○ゲーム形式	○総当たりゲーム 男子5分×3ゲーム 女子4分×3ゲーム	○チームの作戦を意識したゲームになるよう巡回しながら声をかける。 ○審判を行うチームは、審判と2階のギャラリーからの動画の撮影と役割分担を行う。		
まとめ 5分	○チーム反省会	○本時の活動を振り返る ○次時の課題を理解する	○ゲームにおいて、チームの作戦が機能したか確認する。 ○次時の課題を理解させる。	一斉	
	○整列・挨拶	○整列し、姿勢正しく挨拶する	○体調不良・怪我がないか確認する。		